



GREEN Rotary-Club

2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2013年3月11日】

第1080回

2012-2013年度 第28回

★東日本大震災でご逝去された方々に対し

「黙 禱」

【例 会】

1. 開会・点鐘 18:30

(ロータリーソング)

「手に手つないで」

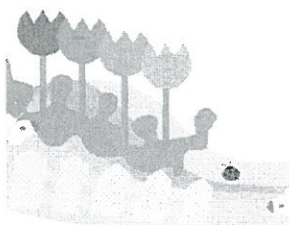
2. 食事と交歓

来訪者紹介

なし

友情の握手

会長スピーチ 山下 佳介 会長)



本日は東日本大震災からちょうど2年が経ちました。改めましてお亡くなりになられた方々と被災された方々のお見舞い申し上げます。これからも支援の輪を絶やさないようにして行きたいと思っております。

さて先週は大分で地区大会が盛大に開催されました、参加された方々遠方まで大変お疲れ様でした。後半の卓話の時間で詳しくご報告したいと思います。

来週の例会は度々ご案内しておりますようにお友達ご招待例会としておりますので皆さん会員増強の一環として一人でも多くの入会候補者をお連れして頂きたいと思っております。更に次々週の例会は会員増強クラブフォーラムとなっておりますので1人一人は入会候補者のリストアップも重ねてお願い致します。

それでは最後に言霊の紹介です、本日は“生き様の誇り・自制心”をご紹介します。

元キャンディーズで女優の田中好子さんが癌と戦い、命絶えんとする時、肉声で、「被災された皆様のことを思うと心が破裂するように痛み、ただただ亡くなられた方々のご冥福をお祈りするばかりです」「必ず天国で被災された方のお役に立ちたいと思います」と息も絶え絶えに語ってこの世を去りました。このような日本人としての自制心を忘れず、しかも事にあたり、我が身を顧みない勇氣、そして強いコミュニティ精神などに対して、世界各国から賛辞を集めていました。この大きな災難がその生き様の誇りを気付かせてくれたのです。更なる東日本大震災支援をあらためて誓いたいと思っております。

幹事報告

河島 一夫 副幹事

■ 報告事項

①熊本グリーンRCは4月1日(月)の例会は、水前寺公園にある日本料理「泉里」にて「観桜例会」を行います。是非奥様も同伴にて多数の御参加をお待ち致しております。

②平成25年5月～平成26年3月まで、我がクラブで「米山奨学生」の受け入れが決定しました。

氏 名:曹 娥(ソウ ガ)さん(女性:32歳)

出 身:中国(北京市)

学 校:崇城大学大学院 工学研究科 応用生命科学専攻

研究内容:副作用の無い人工細胞膜のがん治療薬への応用に関する研究

米山カウンセラー:河島 一夫 会員

(理事会決定)

卓話
予定

3/18 (株)Fonfun(フォンファン) 代表取締役社長 林 和之 氏

3/25 「会員増強クラブフォーラム」

4/1 「観桜例会」(於:泉里)

4/ 8 会員卓話 十時義七郎会員

4/18(木)「熊本北RCとの合同例会」予定★4/15(月)→4/18(木)に例会変更

[熊本グリーンR.C.ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「地区協議会」開催のお知らせ。

日時 4月21日(日)10:00~16:10

場所 人吉カルチャーパレス

人吉スポーツパレス

登録料 5,000円(クラブで負担します)

★出席義務者:次期会長・幹事・クラブ管理運営・
広報・会員増強・奉仕プロジェクト・職業奉仕・
新世代・ロータリー財団・米山奨学の委員長
及び担当長。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本東 RC】

4月2日(火)の例会は、「花見例会」のため、同
日19:00~より「ダイニングカフェ彩」にて行い

★予定では1週間後の4月6日(土)の予定でしたが、「市房ダム」の桜は早く咲くそうで、4月になったら散ってしまっているみたいですので、予定より1週間繰り上げました。春休みの子ども達をお誘いになって多数の御参加をお待ち致しております。



③「友人招待例会」の卓話者紹介

報告者:石浦 順一 会員

来週の卓話者は(株)Fonfun(フォンファン)代表取締役社長の林 和之 氏です。

興味深いお話を聞けると思いますので、是非ご友人を招待して下さい。

出席報告

田中 純司 クラブ管理運営委員長

	会員総数	26名	出席率
3月11日	出席免除会員数	1名	60.00%
	計算上会員数	25名	
	出席会員数	15名	
2月25日	前回の出席会員数	18名	84.62%
	メイクアップ数	4名	
	修正出席会員数	22名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・2/12 熊本西RC 趙 君 ・2/15 I. M. 石浦 君 ・2/21 熊本北RC 廣坂 君 ・3/6 熊本東南RC 河島 君			

スマイル 石浦 順一 会員

●山下 佳介 君

①「先日、地区大会に参加された方々遠いところ大変お疲れ様でした。」

②「石浦会員の初スマイル報告を祝してスマイルします。」

●中島 光司 君

①「東日本大震災から2年が経ちました。あっという間の2年です。熊本に居ると感じませんが、地元の方は本当に大変と思います。奇跡の一本松も再生が進んでいます。街の復興も順調にしてくれる事を願っています。」

②「2月26日に長男が結婚致しました。出席頂いた皆様、本当にありがとうございました。」

●田中 純司 君

「先週は誕生祝いありがとうございました。早速、土曜日の「地区大会」でもプレゼントのネクタイを着用しました。」

●廣坂 彰雄 君

「地区大会出席の皆様お疲れ様でした。本日の発表も楽しみにしております。私は例会に欠席ばかりで申し訳なく思っております。」

●河島 一夫 君

①「2年前の東日本大震災を思い出した1日でした。被災されている方々を思うと言葉もありません。1日も早い復興を祈るばかりです。」

②「昨日の地区大会に参加された方々お疲れ様でした。」

委員会報告

①「ロータリーの友3月号」の紹介

報告者:中島 光司 会員

② 親睦旅行について

報告者:河島 一夫 会員

日時3月30日(土)7:30キャッスル横玄関出発

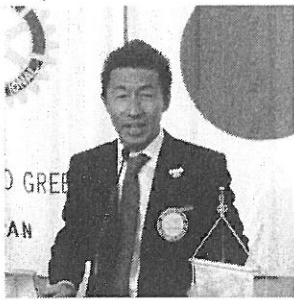
料金:大人5,500円・小人2,500円

内容:人吉旅行:「市房ダム」お花見→「城泉寺」
「青蓮寺」見学→「鍋屋本館」で会席料理と温泉
→「青井阿蘇神社」参拝→「白岳伝承蔵」見学
(職場訪問) →帰途

3. 例会プログラム

「地区大会報告」

★ 山下 佳介 会長



3月8日15時30分より会長・幹事・ガバナー補佐会議に本田幹事と共に参加して参りました。

16時30分からは地区指導者育成セミナーがあり第2770地区PG、吉川RCの中村靖治氏による「良き仲間と共に」という演題でご講演がありました。

また19時からは呉桂洲RI会長代理歓迎晩餐会が開催されました。

ガバナー30名とその令夫人、台湾、韓国のロータリアン約20名という豪華メンバーでした。オープニングにピアノとフルーツ演奏でソプラノ歌手の歌がありましたが乾杯までに挨拶を含めると1時間ほどかかりました。

とても豪華な晩餐会でした。

9日は1178名参加で地区大会の本会議が開催されました。

午前中は色々な方々の挨拶と報告がありました。

お昼はグリーンに参加者7名で近くのお店で美味しいおいしい天ぷらのフルコースを食べました。

午後はメインプログラムでありますトークセッションがありました。

特別ゲストにローソンCEOの新浪剛史氏を迎えて“新世代に伝えるべきこと”という演題で他4名によるパネルディスカッション形式で行われました。

新浪氏は経済同友会、ダボス会議、内閣官房産業競争力会議等のメンバーでもあり実際ローソンの経営はあまりやってないのでローソンの事は聞かないで欲しい言われました。

新浪氏はこれから少子化が進んでいく中でいかに若者が夢を持って社会に望めるかがとても重要である、その為には中小企業の社長が会社の中で失敗を恐れず、失敗をしても許して何でもチャレンジ出来る環境創りが必要ではないかと強く述べられました。

また日本は女性の活用度が世界で101番目ということで女性の働きやすい環境作りもこれからの課題であるとも述べられました。

最近景気も少し良くなって来たのでローソンの社員の給与も3%アップされたそうです。約90分間とても参考になるお話ばかりでした。

その後は各クラブ紹介があり今回は会長は全員登壇しての紹介でしかもRI・ガバナーと自分のクラブ会長夫婦の写真が印刷されたポップを渡されとても感動しましたいい記念になりました。

それからは各種表彰がありました興味深いものが幾つかありましたのでご紹介します。

永年在籍者特別表彰で最長55年の八代RCでPGの緒方基一様、永年皆勤表彰で最長43年の竹田RCの菅謹一郎様、出席最高齢者99歳の日田中央RCの富士本様、会員増強最多6名の熊本平成RC、出席率100%の熊本中央RC・松橋RC、などなど素晴らしい方々、クラブがあるのだなと感心しました。

最後は恒例の手に手つないでをみんなで歌い閉会しました。

今回は会長という立場もあったかもしれませんが私の中の12年間での地区大会としては最高の地区大会でした。

また本田幹事と長い時間を共有出来たのも大きな今回の収穫でした。

★ 本田 悟士 幹事



平成25年3月8日、9日に開催された頭書大会に、山下佳介会長、大友会員、河島会員、山下隆生会員、松村会員、田中会員とともに出席しました。

うち9日開催の本会議@iichikoグランシアタ(午前中は来賓紹介、ガバナーほかの挨拶に終始しましたが、午後は「新世代に伝えるべきこと」と題しての(株)ローソン代表取締役社長CEOの新浪剛史氏の記念トークセッションをメインプログラムに、山下会長も登壇しての参加クラブ紹介、RI会長代理所感等、充実した内容だったと思います。午前8時30分登録開始で午後4時30分頃まで丸一日に亘るものでした。)については、会長、当職のほか5名の会員が参加しているため、各位の報告に譲ります。個人的には「新世代の育成に情熱を！」とのテーマにふさわしい高校書道部のメンバーによるオープニングアトラクション(写真参照)とRI会長代理の通訳(RI会長代理の実兄)の通訳

を超えた“演説”がなかなか印象的でした。

8日のプログラムについては、午後2時30分登録開始の会長、会長・幹事・ガバナー補佐会議@全労済ソレイユ7F(内容は、ガバナー、RI会長代理の挨拶や地区委員会報告、資金監査報告等)の後、午後4時30分頃からRI2770地区吉川RCの中村靖治氏(2009～RI研修リーダー等を歴任)を講師に「善き仲間と共に」と題して地区指導者育成セミナーが開かれました。同地区(RI2770地区)は、田中作次RI会長の出身地区でもあるそうです。

坂村真氏の詩を引用した後、ポールハリス、田中会長の理念等をあらためて紹介・確認されました。

寛容(tolerance)の心から始まったロータリー。宗教も人種も違う、諸々の異なる言動に対する寛大な心が枢要。正義、健全、長所そして行動への意志を見抜く先見の眼を持ち、ただ「登る者」ではなく「築く者」となるように。

それから、日本のロータリー史の上映の後、ロータリーの二本の柱である「親睦」と「奉仕」この言葉を、今一度原点に戻って考えてみたいとされ、概略次のように説かれました。

- (1) 個人としては、一人のロータリアンとして活動する。その企業又は専門職業において、常にロータリーの目的たる言行一致に留意しつつ、ロータリーの説く高度な職業倫理と多角的な奉仕を実践しなければならない。
ロータリアンとは、安心してお付き合い(取引)のできる人のことである。ということ了他に知らしめなければならない。全会員は、ロータリアンのピンバッジを常に身につけ、これを「信用」と「奉仕」の象徴としなければならない。
- (2) クラブがロータリー運動においてどのような価値を持つかは、ロータリアンたちがクラブの会合にどれだけ積極的に参加するかということにかかっている。
各会員は、クラブの会合で提起されるすべての問題について、積極的に討論に加わり、かつ、自己の企業又は専門職業について、話をする機会が与えられなければならない。
語ることで、自分がロータリアンとしてどの位置にいるのか、何をしているのか、なにを意識しているのかが明確になる。相手のことも知ることができる。
- (3) 親睦はロータリー運動そのものではなく、ロータリー運動を充実、実効的なものとする基礎である。親睦fellowshipは、奉仕の心を産み出すための手段である。
親睦活動委員の任務を、親睦会の幹事や同好会の幹事のみにとどめるのは誤っている。ゴルフ、懇親会、親睦会に参加することは親睦活動であって、親睦そのものとは異なるのであり、親睦と親睦活動を混同しないように注意したい。
友情あふれる例会を通して互いに切磋琢磨することで、奉仕の心も高まる。
- (4) その他
例会運営にあたる者は、事業に従事すべき貴重な時間を割いて例会に参加する会員にいかに有益な時間を提供するかに注力せねばならない。
クラブ指導者は、会員が感動するクラブ運営、向上心を満足させるクラブ運営を心がけ、また、各委員会は委員長のみではなく委員全体で委員会として活動することが重要である。
会長の時間、議事、報告、卓話の一つ一つがロータリー運動の質を高め、参加者の心に深い感動を与える内容であってはじめて例会出席の意義が満たされる。
業界の会合には代理を立てることが許されるが、ロータリーには代理出席は許されない。ロータリアンには代わりがないことを意識せよ。
例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心がはぐくまれていく。
そして、例会で学んだことを、奉仕活動として実践することが大事である。実践の場が、家庭、職場、地域社会、国際社会などのcommunity。「出でて奉仕せよ。」

充実した育成セミナーだったのですが、時間が限られ駆け足だったことが残念です。

夜は午後7時からRI会長代理の歓迎晩餐会が開かれ、姉妹地区からのガバナーら来訪のほか、現ガバナーの同期ガバナー夫妻、パストガバナー夫妻などそうそうたるメンバーが参加した盛大な会でしたが、同じテーブルを囲んだ大分のロータリアンとの親睦が深められたのが最大の収穫で、2次会、3次会は別府東ロータリーの会長幹事に案内され非常に充実した親睦活動となりました。

